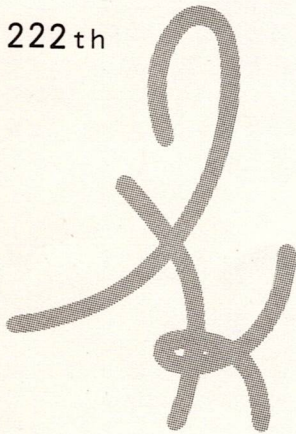


室内楽の夕べ

1992年

平成 4 年 3 月 14 日 (土)
午後 7 時
市川市文化会館小ホール

222th



市川市教育委員会 市川交響楽団協会 共催

プ ロ グ ラ ム

金 管 合 奏

「ピアノとフォルテのソナタ」……………G. ガブリエリ
(1553~1612)

協 奏 曲

合奏協奏曲 作品6-1 ト長調……………G. F. ヘンデル
(1685~1759)

第1楽章 ア・テンポ・ジュスト

第2楽章 アレグロ

第3楽章 アダージョ

第4楽章 アレグロ

第5楽章 アレグロ

協 奏 曲

オーボエ協奏曲 ニ短調 (ハ短調)……………A. マルチェロ
(1684~1750)

第1楽章 アンダンテ・エ・スピッカート

第2楽章 アダージョ

第3楽章 プレスト

————— 休 憩 —————

交 響 曲

交響曲 第104番 ニ長調「ロンドン」……………F. J. ハイドン
(1732~1809)

第1楽章 アダージョ〜アレグロ

第2楽章 アンダンテ

第3楽章 メヌエット・アレグロ

第4楽章 フィナーレ・スピリトゥオーソ

指 揮：山 崎 滋

オーボエ独奏：似 鳥 健 彦

管 弦 楽：市川交響楽団

紹 介



山 崎 滋<指 揮>

東京生まれ。東京芸大指揮科に学び、指揮を金子登、佐藤功太郎、ピアノを村山信子、竹尾聆子、バイオリンを山岡耕作、スコア・リーディングをアンリエット＝ピエイグ・ロジェ各氏に師事。在学中より二期会オペラのスタッフとして活躍し、若杉弘、小沢征爾両氏のアシスタントを務める一方、オペラ研究生スタジオの講師として後進の指導にもあたる。アマチュア団体との付き合いも多く筑波大学管弦楽団、東洋大学管弦楽団、東邦大学管弦楽団、横浜フィルハーモニー管弦楽団、合唱団「枇杷の会」の指揮を歴任。市響200回記念コンサートではベートーヴェンの第9交響曲の指揮を担当したが、今までにない良い演奏で、聴衆を感動させた。また長らくのあいだマタイ研究会の指揮をつとめており、バロック音楽は得意のレパートリーのひとつである。日本指揮者協会会員。



似 鳥 健 彦<オーボエ>

1933年 東京に生まれる。1953年 東京芸術大学音楽学部入学。ユルク・シェフトライン、梅原美男両氏に師事し卒業と同時に近衛英麿氏主宰のABC交響楽団に入団。1960年 同団欧州公演に主席となる。1962年 NHK交響楽団に入団。N響メンバーによる東京木管合奏団において室内楽に活躍するとともに、リサイタルを催し積極的に演奏活動を行っている。この間、第51回日本音楽コンクール、第1回東京国際オーボエコンクール、ソウル音楽コンクール、日本管打楽器コンクール等の審査員をつとめる。

現在、玉川大学、東京コンセルヴァトワール尚美のディプロマコース、東京学芸大学、聖徳短期大学の講師もつとめている。現住所の江戸川区では音楽協議会の理事、区の新人演奏会の審査委員長をつとめ、1987年には江戸川フィルハーモニーオーケストラの音楽監督となり、第一線の指揮者を招いたり、新人指揮者の育成につとめている。最近、同区より「文化功績賞」を授賞した。

似鳥氏と市響とのおつきあいは氏が高校生の時に演奏会のメンバーとして協力していただいていた頃から始まり、それ以来、演奏会クリニックの講師などで、ご協力をいただいています。

ヴァイオリン独奏：鈴木 淳 子<第1ヴァイオリン>

亀 井 玲 子<第2ヴァイオリン>

今宵ヘンデルの独奏を弾くのは市響の団員である 鈴木さんと亀井さんです。

鈴木さんは昨年1月に市響に入団した若手のホープです。何事にも挑戦する姿勢はすばらしく、今回の独奏も当初と比べて格段の仕上がりととなりました。今後の市響を支えてほしいと思います。

亀井さんはその温厚な人柄のため、団内の人望も厚くオケの中でもファンがたくさんいます。何事にも誠実に取り組む彼女のこと、練習の成果を発揮してすばらしい演奏が聴けるのではないかと思います。

曲 目 紹 介

金管合奏「ピアノとフォルテのソナタ」

G. ガブリエリ
(1553~1612)

G. ガブリエリは16世紀後半から17世紀初頭のヴェネツィアにおける代表的な作曲家であった。叔父であるアンドレア・ガブリエリの後を継いで、サン・マルコ大聖堂の第1オルガン奏者としての活動のかたわら、当時としては革新的な技法による作曲により近代音楽への道を開く大きな役割を果たしています。

今日演奏する「ピアノとフォルテのソナタ」はソナタの現存する最も古い例であるとともに、ピアノとフォルテという強弱の指示が楽譜に記載された最初の例であるところから上記の呼び名がついたもので、最初からこの様な名前がついていた訳ではないようです。

曲は4部ずつからなる2つの合奏隊(Choir)による色彩的な音色と音量の対比、エコーの効果などの技法が4分半程の曲の中でふんだんに使われており、現代の金管アンサンブルの魅力をより効果的に表現できる曲として演奏会用レパートリーの中でも最も重要な曲のひとつになっています。

(トロンボーン：藪崎 裕至)

合奏協奏曲 作品6-1 ト長調

G. F. ヘンデル
(1685~1759)

ヘンデルは、「水上の音楽」や「王宮の花火の音楽」の作曲者として知られているが、複数の独奏楽器を用いた合奏協奏曲(グランド・コンチェルト：イタリア語でいう“コンチェルト・グロッソ”)を30曲近く作曲している。その中でも作品6の合奏協奏曲集は、現在でも演奏される機会の多い作品である。

この曲集は、ヘンデルが54歳のとき、1739年9月29日から10月30日にかけて作曲され、翌年4月に出版されている。この時期はいわば役の円熟期で、3年後には傑作「メサイア」が作曲されている。12曲から成る作品6の合奏協奏曲集を、ほぼ1か月間で仕上げたという早業もさることながら、12曲それぞれが異なった様式で書かれていて、しかも表現力の豊かな、完成された作品であるという事は、まさに驚異としかいいようがない。

今夜のプログラムでとり上げる第1番は、作品6の冒頭を飾るにふさわしく、高雅な気品と、ヘンデルらしい明るさと力強さを備えた作品である。第1楽章は宮廷風の堂々とした曲で、神秘的な短調の終結を経て快活な第2楽章へと続く。第3楽章は哀愁を漂わせる緩徐楽章で、第4楽章は独奏の第1ヴァイオリンのソロに始まり、独奏と全奏が交替しながら進む。第5楽章はメヌエット風の明るい快活な舞曲である。全部で15分にも満たない曲であるが、内容的には盛りだくさんで、楽しんで聴いていただけることと思う。

(ヴァイオリン：亀井 玲子)

オーボエ協奏曲 二短調(ハ短調)

A. マルチェルロ
(1684~1750)

2年程前だろうか。オーボエ版「タイスの瞑想曲」をBGMに流した某タバコのCMがちょっと話題になった。オーボエの音をバックに使ったCMはいくらかもあるが、「タイスの…」は、奏者宮本文昭氏の演奏シーンがバッチリ映し出され、オーボエ奏者あるいはオーボエそのものを、広告のイメージキャラクターとして起用した、恐らく唯一のCMではないかと思う。そのせいか、この普段耳なれない楽器の名を知る人が、急激に増えた。しかしながら、ちまたの女性の間から「私も最近、趣味でオーボエを始めましたの。」などという話は全く聞いたことがない。オーボエが一般に普及していくのは、①高い②むずかしい③面倒くさいの三拍子が揃っているかららしい。それでも多くの作曲家が、この気むずかしい楽器のためにたくさん曲を残した。マルチェルロの協奏曲もその一つである。とりわけ第2楽章の甘美なメロディーは、映画「ヴェニスへの愛」でもおなじみであり、オーボエのもつ魅惑的な音色を十分に楽しむことができる。

(オーボエ：荒井 淳)

交響曲 第104番 ニ長調 「ロンドン」

F. J. ハイドン
(1732~1809)

フランツ・ヨーゼフ・ハイドンは生涯で104曲の交響曲を残しました。ヘンデルやマルチェロが活躍した時代に生まれ育った彼の初期の作品には、バロックの様式が色濃く残っています。そして最後を飾るのが1795年初演のこの曲です。「ロンドン」の呼び名は後年つけられたもので、作曲、初演の場所にちなんでいますが、これを含む12曲がロンドンで作られました。「驚愕」(市響では昨年演奏)、「軍隊」「時計」などおなじみのものばかりで、ソナタ形式と交響曲の4楽章形式を確立した彼の音楽の集大成といえるでしょう。

私たちが普段目にするオーケストラの基本的な編成は4種類の木管楽器と2種類の金管楽器がそれぞれ2本ずつ揃った「二管編成」といわれるものですが、それを完全に実現したのがハイドンの最後の6曲です。(それまではクラリネットを欠き、またトロンボーンが交響曲のなかに登場するのは後年のことです。)1791年に死んだモーツァルトは形式や編成を確立するには至らず、24歳年上のハイドンの方が、弟子としても出入りしていたベートーヴェンの交響曲に直接大きな影響を与えたわけです。

ハイドンは音楽家には珍しく健康で幸福な生涯を送りました。人柄も善良で楽団員からは「パパハイドン」と親しまれていました。彼の音楽は激情とも陰鬱さとも無縁で、常に明るくなごやかに私たちを楽しませてくれます。

今回この曲の演奏にあたり指揮の山崎先生からテンポやフレーズについていくつかの指示をいただきました。現代的な歯切れのよさよりもむしろ18世紀の素朴な明るさを表現できれば幸いです。

(ヴィオラ：渡部 玲子)

本 日 の 出 演 者

第1 ヴァイオリン	深 沢 武 夫	コントラバス	ホ ル ン
鈴 木 淳 子	ヴィオラ	菊 池 克 彦	河 野 和 正
竹 内 甲	内 田 綾 美	鈴 木 重 則	嶋 村 恒 夫
永 田 匡	斎 藤 十 一 郎	三 輪 泰 之	トランペット
広 浜 浩 司	高 橋 行 継	村 上 信 乃	浅 岡 幹 晶
福 原 祥 子	竹 内 ひとみ	李 隆 子	安 藤 宣 明
松 延 祐 子	村 上 賢 一	フルート	一 桝 泰 一
松 山 和 子	星 乗 昭	木 村 純 一	新井本 昌 宏
三田村 忠 芳	横 田 行 雄	木 村 真 諭 紀	トロンボーン
本 山 厚 子	渡 部 玲 子	オーボエ	久 保 昭
柳 沢 敦 子	チ ェ ロ	荒 井 淳	桑 秀 樹
第2 ヴァイオリン	倉 沢 由 和	宇田川 知 子	梶 谷 妙 絵
石 井 久 雄	瀬 川 清	クラリネット	野 木 夕 起 子
石 本 恵 理	田 頭 扶	時 田 雄	藪 崎 裕 至
亀 井 玲 子	中 村 公 一	一 瀬 直 美	チューバ
北 由 美 子	樋 口 進	ファゴット	渡 辺 鉄 雅
栗 林 え み	福 原 耕 二	小 島 厚	ティンパニー
堤 哲 児	横 田 朝 之	戸 川 安 道	丹 羽 裕 子
根 守 弘 和			チェンバロ
久 田 しげ子			伊 藤 明 子